

# 令和6年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動の問いを自ら見付けて主体的に活動できるように力を付ける必要がある。</li> <li>説明文や意見文の構成を捉えて文章を読み取る力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入を工夫して児童の意欲が高まる雰囲気を作る。学習計画を児童が作れるようにして、主体的に取り組めるようにする。【発見】</li> <li>要旨を読み取ってまとめられるよう、見本を示しながら指導する。【決定】</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題に対する自分の考えを自ら周りに説明する力を付ける必要がある。</li> <li>文章問題の意味を理解できず、立式に迷ってしまう様子がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに図や言葉、式を組み合わせて考えを書くよう指導する。ペアや少人数で自分の考えを説明する場面を作る【対話】</li> <li>全員が立式できるように、問題を全員で確認する時間を設けたり、問題場면을図に表す時間を確保したりする。【発見】</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活から理科に関する問いを発見したり、問いを解決するための計画を立てたりする力を付ける必要がある。</li> <li>実験の結果から問題の答えを考えることが難しい様子がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入時に日常生活での事象を想起させたり、計画を立てる際に児童の発想した方法を取り入れたりして問題解決型の授業を進める。【発見】【対話】</li> <li>実験をする際になぜその実験をするのかを確認し、目的をもって実験ができるようにする。【表現】</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決に向けて、資料から必要な事柄を正確に読み取ることが難しい様子がみられる。</li> <li>調べ学習に意欲的な一方で、集めた資料をまとめることが苦手な様子が多くみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこに着目するか、大切なことは何かなど資料の読み取り方を丁寧に指導して、徐々に自力で読み取る力を付ける。【発見】</li> <li>学級で出し合った情報を全体でまとめたり、小グループでまとめたりしてまとめる力を身に付ける。【表現】</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気よく歌うことや、違う旋律で重ねて歌うことができるが、ハーモニーづくりに課題がみられる。</li> <li>合奏で、自分のパートに一生懸命になり、周りの音とのバランスを調整するのが難しい様子がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声の質がそろうように、和音での重なりを意識するような楽曲に取り組み、自分たちで美しいハーモニーをつくっていく活動を行う。【発見・表現】</li> <li>演奏したものを録音し、客観的に聴けるようにする。【表現】</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞活動で、造形的な視点で良さを感じて伝え合うことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な作品にふれて、それぞれの良さを伝え合う活動の充実を図る。実際の作品をみて感じたことを話し合って良さを共有し、ICTを活用して良さをまとめる活動を行う。【対話・表現】</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味をもって取り組もうとする意欲があるが、今までの経験による技能の差が大きい。</li> <li>言われたことはやろうとするが、発想したり工夫したりすることが苦手な様子がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別で対応したり、視覚的な資料や板書の工夫で知識を補い、児童同士で教え合う場面を設けたりするなどして技能の習得を図る。【対話・表現】</li> <li>いろいろな色の糸や布、様々な見本を用意し、発想や工夫のヒントにする。【発見・決定・表現】</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況に応じた教具や場を、自分の学びに生かしていない様子が見られる。</li> <li>自分の考えをもって表現したり、運動に生かすために工夫したりする姿勢に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教具や場の価値を児童に伝え、学びに生かせるようにする。【発見】</li> <li>単元のはじめにめあてや到達目標を伝えて、取り組み方の工夫を考えさせる。取り組みを工夫している児童を意図的に取り上げて全体に価値付ける。【決定】</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンステストに向けた当日までの準備状況に二極化がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に発表の練習をさせ、友達同士で聞き合い助言し合う機会を設ける。【対話・表現】</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。